



# おすすめの本

## 小学校低学年向



本のなまえ	かいた人	しゅっぱんしゃ	せいきゆうきごう
王さまと九人のきょうだい 中国の民話	君島 久子／訳 赤羽 末吉／絵	岩波書店	Eア
たんぽぽ	平山 和子／ぶん・え	福音館書店	Eヒ
ケーキやさんのゆうれい	ジャクリン・K. オグバーン／作 福本 友美子／訳	フレーベル館	Eプ
ワニてんやわんや	ロレンス・イエップ／作 ないとう ふみこ／訳	徳間書店	イ
番ねずみのヤカちゃん	リチャード・ウィルバー／作 松岡 享子／訳	福音館書店	ウ
火よう日のごちそうはひきがえる	ラッセル・E・エリクソン／作 佐藤 涼子／訳	評論社	エ
ちびドラゴンのおくりもの	イリーナ・コルシュノフ／作 酒寄 進一／訳	国土社	コ
おいしいのぼうけん	ふるた たるひ／作	童心社	フ
小さなスプーンおばさん	アルフ・プリョイセン／作 大塚 勇三／訳	学習研究社	プ
氷の上のボーツマン	ベンノー・ブルードラ／作 上田 真而子／訳	岩波書店	プ
なぞなぞのすきな女の子	松岡 享子／さく	学習研究社	マ
魔女学校の一年生	ジル・マーフィ／作 松川 真弓／訳	評論社	マ



## としょかんりょうあんない



### ■きゅうかんび

月曜日、土曜日・日曜日をのぞくげつまつ  
月曜日をしゆくじつかいかんしたよくじつの火曜日  
ねんまつねんし

とくべつきゅうかんび(ぞうしよてんけんのため、まいとし6月にかくかんがじゅんじきゅうかん)

### ■かいかんじかん

ちゅうおうとしょかん、もりのとしょかん

火曜日－土曜日 9:30－20:00 日曜・祝日 9:30－17:00

みなみながれやまぶんかん

火曜日－土曜日 10:00－20:00 日曜・祝日 10:00－17:00

ほくぶぶんかん、はついしぶんかん、とうぶぶんかん

10:00－17:00

おといあわせ ちゅうおうとしょかん 04-7159-4646

## すずめのくつした

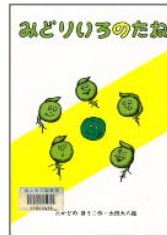
ジョージ・セルデン／ぶん  
光吉 郁子／やく（大日本図書）



アンガスの家のくつ下こ  
うばでは、なんとか町の人たち  
にかけてもらおうと、先のまっ  
かな横じまの冬のくつ下を作  
って売りだした。しかし、やっ  
ぱり売れません。ところが、  
ある寒い日、アンガスが仲良しのすずめに作っ  
たくつ下をすずめたちがはいて町中をとびま  
わると、このくつ下が町中の評判になって…。

## みどりいろのたね

たかどの ほうこ／さく（福音館書店）



まあちゃんは、えんどう豆  
のたねといっしょにみどりい  
ろのあめだまも畑にうめてし  
まった。すると、土の中では、  
豆のたねとあめだまがにら  
みあい…。やがて、メロン  
のあめだまをなめたたねが芽を出し実がな  
ると、何とその豆の味は…。

## すずめのおくりもの

安房 直子／さく（講談社）



気のいいとうふやさんのと  
ころへ、すずめたちが紙ぶく  
ろにいれただいずを持ってや  
って来た。すずめ小学校に  
入学する25羽の子すずめ  
のために、とうふを一丁つくり、  
そのとうふであぶらあげを13枚作ってほしい  
というのです。夕方、あげを作ってもらったす  
ずめたちは、ごちそうのおすそ分けを持って  
やって来た。

## チキチキバンバン

①チキチキバンバンはまほうの車

イアン・フレミング／さく  
こだま ともこ／やく（あすなろ書房）



冒険家で発明家のポットさん  
は音のでるキャンディーを発明  
して手に入れたお金で、スクラ  
ップ寸前のオープンカーを手  
に入れた。（かつて、この車はレ  
ースコースを走っていたパラゴン・パンサー  
だった。）ポットさんは、3ヶ月かけて修理し、  
ピカピカになった車に、チキチキバンバンと  
名前をつけた。ある日、ポットさん一家がド  
ライブに出かけると、車は渋滞にまきこまれ、  
ちっとも前に進まない。すると、チキチキバ  
ンバンは飛行機のように、ごう音とともに空  
にまいあがったのです…。

## とりになった きょうりゅうのはなし

大島 英太郎／さく（福音館書店）



小さな恐竜の中には、からだ  
に「うもう」がはえているものが  
いて、彼らの中には樹の上でく  
らすようになったものがいた。そ  
して、長い年月がたつと、そのし  
その中には手足にはえている「うもう」が長  
くのびて「つばさ」の形になり、飛ぶことのでき  
る恐竜が現れた。この恐竜のなかまのしそん  
がすがたをかえて生きているのが私達のまわ  
りにいる「とり」だと考えられている。恐竜と鳥  
のかかわりを描いた本。

## 小さい魔女

オトフリート・プロイスラー／さく  
大塚 勇三／やく（学習研究社）



127歳の小さな魔女は、  
年に1度ワルプルギスの夜  
に魔女たちが踊る仲間に入  
れてもらえません。まだまだ  
若すぎるというのです。こっ  
そりまぎれこんだのが見つかり、  
罰をうけた魔女は、1年後によい魔女にな  
ってれば来年は出席してもいいと言われま  
した。一生けんめい魔法の練習をして、人助  
けにはげんだ小さい魔女ですが…。